

令和2年度 公益社団法人上牧町シルバー人材センター 事業計画

基本方針

国の緩やかな景気回復傾向の一方で、企業においては、定年延長、再雇用による労働力の確保をもつてもなお、人手不足が深刻化しており、少子高齢化社会に立ち向かい地域経済の活力を維持するためには、高齢者の労働力が下支えとして必要不可欠な状況です。また高齢者が知識、経験等を生かし働くことで高齢者自身の収入のみならず、健康・生きがい・社会貢献へつながることから、シルバー人材センター事業の重要性は高く、センターに寄せられる期待はますます大きくなっています。

そのような状況の中、事業運営としては、さらなる会員拡大・就業拡大のための普及啓発活動、就業開拓活動と新入会員の入会勧奨を推進いたします。全国シルバー人材センター事業協会の目標とする、「令和6年度全国会員100万人」達成にむけて、昨年度同様、一拠点センターとしても年3%以上増を目標とし、会員拡大を図るとともに、発注者及び会員の要望にこたえられるよう、就業開拓・提供に努めます。

高齢者が健康で意欲と能力のある限り、年齢にかかわらず働き続けることができる「生涯現役社会」の実現のため、引き続き当センターは運営の効率化を徹底する一方で、安全適正就業を重視し、センター事業の活性化を推進することで、高齢者の知識・経験を生かした活力ある地域社会づくりに貢献できるよう努めてまいります。

事業活動の取り組み

(1) 会員拡大

健康で働く意欲のある高齢者を対象に、事業の周知や新規入会のため定期的な入会説明会を月1回から2回へ増やし開催するほか、広報活動や口コミなどによって入会勧奨を積極的に推進します。

(2) 就業機会拡大・提供

チラシ・パンフレット等の町内全域配布や就業開拓員による訪問により、請負・派遣・職業紹介の各分野において、公共および民間事業所、町内各家庭からの受注確保に努めます。独自事業のさをり織り・衣類のお直し・パソコン講習等については、事業内容を見直しながら、今後も会員の自主性を尊重した運営を展開します。

(3) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の実施

昨年より引き続き、人手不足分野や現役世代を支える分野で就業する機会を提供する事業として派遣就業を中心に実施します。令和2年4月1日施行の改正派遣法による契約に関する変更点や課題に対して、奈良県シルバー人材センター協議会と連携をとり、慎重かつ適正に対応いたします。

(4) 普及啓発活動

事業全般に対する地域の理解と協力を得るための広報活動として、毎月発行の「シルバー人材センターからのお知らせ」を町内全域へ配布します。ホームページを有効活用し、センターのしくみ・会員募集・仕事の紹介など、できるだけわかりやすく情報発信します。また、会員の協力を得て、口コミでの知人・友人への入会勧奨も継続します。上牧町の「ペガサスフェスタ」、奈良県シルバー人材センター協議会の「シルバークフェスタ in なら」などのイベントに参加し機会あるごとにセンターのPRを図ります。

(5) 「かんまきシルバープラザ」の活動

「かんまきシルバープラザ」については、一昨年「レインボー西大和」から「上牧町障害者福祉センター」へ移転しました。高齢者の就労や社会参加等についての相談、情報提供サービスを行い、地域とのふれあいの場として、「衣類のお直し」事業の拠点として活動を継続します。

(6) 技能講習

地域の高齢者への技能付与を目的とした講習会及び技能職種の会員拡大及び後継者育成のための講習会を職種別に実施します。

(7) 安全適正就業と健康維持

会員は、会員就業規約や安全就業基準に基づき、健康確保と事故防止に努めることとし、仕事中及び就業先への往復途上の安全確保についても、会員の自覚を促すとともに安全・適正就業推進員等による指導により、「安全はすべてに最優先」をモットーに、事故減を目指します。安全推進体制として安全委員会、安全就業推進員を設置しています。また、「全国安全週間」に合わせ7月を「安全就業強化月間」に設定し、安全・適正就業対策推進基本計画に基づく安全パトロール、講習会実施などを実施します。

また、適正就業ガイドラインの内容についても引き続き、会員、発注者に周知し法令遵守のもと事業を推進します。

(8) 社会奉仕活動の推進

地域から信頼されるセンターをめざし会員が地域との絆を強め、地域社会に貢献出来るよう会員個人へ促すとともに、センターとしても「シルバーの日」の町内清掃活動や、世代間交流を図るため、シルバー農園で幼稚園児と会員・役員と一緒に「芋掘り」を実施するなど、組織的なボランティア活動を実施します。